

関連イベント情報

●日本化学会第90 春季年会(2010)

平成22 年3 月26 日(金) 近畿大学本部キャンパス

特別企画 「ソフト界面科学のニューウェーブ」

プログラム :

13:30-13:35 趣旨説明

(北陸先端大マテリアルサイエンス)三浦 佳子

司会 : 高井まどか (東京大学)

13:35-14:05 自己組織化単分子膜を用いたDNA センサーの構築

(東レ先端融合研究所)中村 史夫

司会 : 三浦佳子 (北陸先端大)

14:05-14:35 表面力測定および和周波発生振動分光法による吸着水の構造評価

(東北大多元研・CREST-JST) ○水上 雅史・小林 篤史・栗原 和枝

14:35-15:05 固体高分子中の見えない水 高分子-水系における水の相転移挙動

(富山大院理工)源明 誠

15:05-15:35 DNA 担持高分子ミセルの特異なコロイド安定性

(理研)宝田 徹

司会 : 菊池明彦 (東京理科大)

15:35-16:05 生体高分子の機能を向上させる天然/合成高分子ハイブリッド型密生層界面

(筑波大院数理物質・筑波大TARA) ○吉本 敬太郎・長崎 幸夫

16:05-16:30 ソフト界面を活用したバイオトランジスタの創製

(東大院工・物材機構) ○松元 亮・宮原 裕二

趣旨 :

生体分子、高分子などのソフトマターの界面は、外部からの刺激によって構造や性質が大きく変化する、ソフトな特性がその大きな特徴で、この動的な界面をソフトインターフェース (ソフト界面) と定義している。このソフト界面の精密な構築、機能の解析、応用によって、次代の技術を支えるバイオマテリアルやバイオデバイスの開発に大いに役立つことが考えられる。本特別企画では、ソフト界面について、特に次世代技術を担う若手研究者の研究について発表の場を設け、活発な議論を行い、本分野の発展と交流に役立てる。